



響き合い

～日々気合い～

中央小学校
学校だより
令和5年2月7日(火)
No. 25
文責 門岡啓介

立春を過ぎました

～春はまだまだ
名のみです～



2月4日(土)は、暦の上では春を迎えました。しかし、寒い日は続いています。今週は少し気候も緩むようですが、どうなるのでしょうか。

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」という言葉もあります。2月、3月の学校生活で、子供たちが力を蓄えてくれることを期待しています。

中学生へ向けて



1月31日(火)、スクールカウンセラーの江崎先生に、「集団内での気持ちの持ち方」をテーマに6年生へ講話をしていただきました。どうして心のすれ違いが起こるのか、その時どうすればいいのか、脳科学や発達心理学をベースにわかりやすく、ユーモアも交えながら話していただきました。子供たちもよく理解できたと思います。淀川校長先生を初め、中央中の先生方も見に来ていただき、小中連携の面からも意義のある時間となりました。

<児童の感想>



6年 中村美雨さん

私は、今日のお話を聞いて、人に感謝の気持ちを持ち、それを言葉にできる人になりたいと思いました。お話を聞いて、特に印象に残っていることは、くだもの例えです。確かに保育園の時は自分が一番優先で周りのことは考えてなくてりんごのようでした。だけど小学校高学年からは周りを気にしたり、色々複雑な思いもあり、ぶどうのような心だと思いました。また、勇気を出して、みんなに伝え、知ってもらおう大切さを改めて感じました。大人に近づくにつれて心も体も成長していて、それは周りも分かっている、きちんと話せばお互い理解することができることがわかりました。これから、落ちこんだりしている友達がいれば、声をかけたり、よりそってあげるだけでもできることをしたいと思いました。

6年 吉住太一くん

ぼくは、スクールカウンセラーのお話で、自分が友達になんと思われているかなど気にしなくてもいいと分かりました。ぼくは4年生からはずっと自分がどう思われているのか、きられてないかなど周りの目を気にしていたけれど、他の人もいっしょかもしれないと思うようになったような気がしました。そして、りんご、ぶどう、みかんの図を確かにとしました。ここは小さい時は1つだけ、大きくなるにつれぶどうみたいに増えて、大人になるとみかんになってかくすようになっていくんだなと思いました。いろんな自分を育てていくことも大事なんだと思いました。そして、最後に中学生になったら、たくさんいろんなことがあるだろうけれど、今の友達を大事にして、周りの目ばかり気にしないようにしたいです。

どんな道でも
進まなければ
山にたどり
着かない
ノルウェーの詩



「先生紹介」

中嶋 利彦 教頭先生



- 1 趣味 日曜大工(主に木工) アウトドア
- 2 特技 吹奏楽(トロンボーン)
※中学校から現在まで続けています
- 3 一言

保護者の皆様には日頃から大変お世話になっています。美里町はICT環境が充実し、子供たちの学びがとてもしっかり向上していますので、学校もしっかり整備していきたいです。HPもリニューアルしましたのでぜひご覧下さい。

本校の扇の要、職員室の担任としていつもお世話になっています。職員・児童・保護者の皆様との相談や情報処理(ICT)、環境整備等多岐に渡り、なくてはならない存在です。昨年度は宇城教頭会の会長に選出され、宇城全体のリーダーとしても活躍されています。